

令和3年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価に関する報告書
(対象年度：令和2年度)

高萩市教育委員会

目 次

I	はじめに	
1	趣旨	1
2	点検及び評価の対象	1
3	点検及び評価の方法	1
4	外部評価委員	1
II	点検及び評価結果	
1	教育委員会の活動	2
2	教育委員会が管理・執行する事業	4
(1)	学校教育	4
(2)	生涯学習	18
(3)	市民文化	24
(4)	人権	30
III	外部評価委員会委員の意見	32
IV	参考資料	
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	33

1 はじめに

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成20年4月1日施行）の施行により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に報告するとともに、公表しなければならないとされました。

このため、高萩市教育委員会では、法律が改正された趣旨に則り、より効果的な教育行政の推進を図るため、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書（令和2年度実績）」としてまとめ、議会に報告するとともに公表することとします。

2 点検及び評価の対象

本市の市政運営の基本である第5次高萩市総合計画「まちの安全・ひとの安心・しごとの活力 快適生活都市 高萩」及び教育委員会の運営の基本である「高萩の教育」における重点戦略を構成する施策のうち、令和2年度に教育委員会が実施した主な事務事業を点検及び評価の対象としました。

3 点検及び評価の方法

教育委員会が実施した事務事業を「1 教育委員会の活動」と「2 教育委員会が管理・執行する事業」に大別し、項目ごとに自己点検評価を行いました。

また、点検と評価の客観性を確保するために、事務局内部で実施した点検と評価報告について、教育に関し深い知識を有する者（外部評価委員）の意見を求めました。

4 外部評価委員

（敬称略）

氏 名	所 属
蛭 田 隆 久	元高萩中学校長
黒 澤 み の り	市社会教育委員
堀 江 友 次	市体育協会理事長

II 点検及び評価結果

1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会の構成

	氏 名	任 期
教 育 長	大 内 富 夫	平成 30 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
教育長職務代理者	関 矢 光 良	平成 29 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
教育委員	鈴 木 幸 男	平成 30 年 10 月 1 日～令和 4 年 9 月 30 日
教育委員	増 子 恵 美	令和 2 年 10 月 1 日～令和 6 年 9 月 30 日
教育委員	佐 川 睦 子	平成 30 年 10 月 1 日～令和 3 年 9 月 30 日

(2) 令和 2 年度教育委員会月別開催状況

教育委員会では、付議された案件についての審議や報告等を行う定例会を毎月 1 回開催する他に、必要に応じて臨時会を開催しました。また、教育委員の意見交換や研修活動等の場として協議会を開催しました。

教育委員会では、23 件の議案と 9 件の報告について審議しました。人事案件や教育委員会規則の制定又は一部改正等について慎重かつ迅速な審議が適正に行われました。これらにおいては、本市の教育行政について様々な視点から建設的に議論されてきました。

教育委員会では、第 5 次高萩市総合計画で示された主要施策である「たくましさを育む「教育・文化」」の実現に向けて、様々な事業の展開に努めてきました。

(単位 回)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1
臨時会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3

(3) 学校訪問

教育委員会と学校現場が互いに共通認識を持ち、より良い学校教育を推進することを目的として、学校園訪問を実施しています。教職員が実際に指導している様子や子どもたちの様子を把握するとともに、学校及び園での取り組みや課題について意見交換を行っています。

月 日	場 所
6 月 23 日	松岡中学校、高萩小学校、松岡小学校、松岡幼稚園
6 月 24 日	秋山中学校、秋山小学校、第一幼稚園
6 月 25 日	高萩中学校、東小学校、東幼稚園、秋山幼稚園

12月17日	松岡中学校、高萩小学校、松岡小学校、第一幼稚園
12月21日	高萩中学校、東小学校、東幼稚園、松岡幼稚園
12月22日	秋山中学校、秋山小学校、秋山幼稚園

(4) 教育委員研修

例年、国・県・他自治体の取組等に触れる機会を設け、委員としての見識を深めるため、研修に参加していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため研修会等は中止になりました。

2 教育委員会が管理・執行する事業

(1) 学校教育

少子化に対応し、良質な学校教育を通して、いきいきとした萩っ子を育てます。

事業名	① 教育環境の整備			
施策の内容	<p>○教育施設・設備等の充実が児童生徒の学力向上につながっています。</p> <p>○少子化時代に対応した学校等を適正に配置しています。</p>			
担当課	教育総務課			
実施内容	<p>○教育環境の改善を図るため、秋山小学校自動火災報知設備改修、東小学校消火栓ポンプ改修、松岡小学校プール解体、秋山中学校渡り廊下改修、各小中学校特別教室空調設備整備等を行った。</p> <p>○国のGIGAスクール構想に基づく小中学生一人一台タブレット端末及び大型インフォメーションディスプレイ等の整備、ネットワーク環境の拡充等のICT教育環境整備を行った。</p> <p>○高萩中学校区の第一・東幼稚園、高萩保育所を一つにする幼保連携型認定こども園は、令和4年4月開園に向け、基本設計・実施設計及び建設工事（場所：第一幼稚園敷地）を進めている。</p> <p>また、第一幼稚園は一時的に東小学校内に移し、既存の施設を解体するため、引越しや解体等を行った。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○児童生徒数の減少と学校施設の老朽化を鑑み、適正な学校規模とより良い教育環境の提供を引き続き検討する。</p> <p>○小中学生に整備したタブレット端末を使った学習機会の拡充や臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用によりすべての子ども達の学びを保障できる教育環境実現のため、学校と教育委員会が連携し運用方法などを検討していく。</p> <p>また、「1人1台タブレット」の導入に伴い、児童生徒一人一人の情報活用に関する正しい知識、判断力を身に着けるために、情報モラル教育の充実にも努めていく。</p> <p>○松岡・秋山幼稚園については、園児数の減少や耐震化が課題となっているため、あり方など引き続き検討していく。</p>			

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H29	H30	H31・R元	R2	目標値 (R2)
適正な規模の小学校の割合	60.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	スムーズな学校運営ができる体制
適正な規模の中学校の割合	25.0%	66.6%	66.6%	66.6%	66.6%	

外部評価委員の評価	<p>○実施内容と評価、課題と今後の取組については、具体的な観点から適正に行われているので今後も続けて欲しい。</p> <p>○国の施策GIGAスクール構想に基づく情報機器の準備が着実に進み、ICT教育環境が整ってきたのは大変心強く、今後も推進して欲しい。ハード面とソフト面の両輪がうまく組み合わせられてこそ教育環境整備の意義があるので、教職員の指導力向上との関連を図って欲しい。</p> <p>○来年度以降に開園する幼保連携型認定子ども園と従来の園との違いやよい点、改善点等を明らかにできるチェック項目を事前に作成し、今後に生かして欲しい。</p> <p>○教育環境の整備実施は比較的大きく前進した事が伺える。今後も引き続き継続し実施することを期待したい。</p> <p>○ICT教育環境整備の「一人一台のタブレット」導入により、児童生徒の更なる飛躍に繋がると高く評価したい。同時に、「インターネットの落とし穴」に対してのモラル導入に期待したい。</p> <p>○教育環境の改善を計画的に実践している。引き続き、適正な学校規模とより良い教育環境の推進をお願いします。</p> <p>○一人一台タブレット端末及び大型インフォメーションディスプレイ等、通信ネットワーク環境が整った。多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個別最適化された創造性を育む教育の実現に向け推進することをお願いします。</p> <p>○ICT活用の実用化推進に向けて、正しい知識、判断力を身につける情報モラル教育は大変重要な取り組みである。学校と教育委員会が連携して効果的なICT活用が図られることをお願いします。</p> <p>○第一・東幼稚園、高萩保育所の集約は、予定通りの工事日程で進行している。引き続き、令和4年4月1日開園に向けて建設工事進行をお願いします。</p> <p>○松岡・秋山幼稚園について、第一・東幼稚園、高萩保育所の集約計画と同様に市民目線で幼児教育・保育環境整備計画の取り組みをお願いします。</p>
-----------	---

事業名	② 確かな学力の定着			
施策の内容	○基礎・基本が確実に定着されています。			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」による読書活動を推進した。</p> <p>小・中学校ともに、前年度を上回る結果となった。コロナ禍による休校により、家庭で読書する児童生徒が増えたことが推察される。</p> <p>小学校 4～6 年：年間 50 冊以上 542 人（86.9%） ※令和元年度 440 人（69.4%）</p> <p>中学校 1～3 年：年間 30 冊以上 176 人（29.3%） ※令和元年度 154 人（24.1%）</p> <p>○休校期間でも子供たちの学びを止めないよう、いばらきオンラインスタディ（教科書をもとに茨城県の教員が作成した学習動画）を活用した自主学習を促したり、定期的に家庭訪問を実施して家庭学習の手引きや課題を配付したりするなど、家庭学習の充実に向けて取り組んだ。</p> <p>○休校期間後は、子どもたち一人一人の自主学習の成果や課題を確認し、その内容を復習しながら、当該学年で履修すべき内容の漏れがないよう、教育委員会でも状況を確認しながら授業を進めた。</p> <p>○例年実施していた、県の学力診断のためのテストに代わり、学力定着度調査が行われた。学校や学年、教科による習熟度の差がみられた。</p> <p>○小・中学校学習指導要領改訂に伴い、指導と評価の一体化に関する資料を作成し、講師を招いた研修会を実施した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」による読書活動をより一層推進する。また、高萩市学校図書館研究部と連携して講師を招いた研修会を実施し、成果が上がった地域での取り組みを参考に魅力ある図書室づくりを進め、読書活動を推進する。</p> <p>○1人1台端末が市内全児童生徒に導入されたことを受け、積極的にICTを活用した授業づくりを進める。また、高萩市情報教育研究部と連携し、定期的に研修会を実施するとともに、情報活用能力系統表を作成し、どの学校でもどの学年でも同一歩調で授業が進められるようにする。</p> <p>○SNSでのトラブルやインターネット上の危険性に直面するリスクをなくすため、市内全児童生徒を対象に、情報モラル教育を実施する。教職員や保護者を対象とした研修会も実施し、</p>			

	<p>子どもも大人も共に学ぶことで、正しい知識と優れた判断力の育成を目指す。</p> <p>○採用3年目までの若手教員を対象に、授業力向上を目的とした研修を計画的に実施することで、若手教員の資質・能力の向上を目指す。</p>
--	--

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H29	H30	H31・R元	R2	目標値 (R2)
学力診断テスト市平均点と県平均点との差	-1.37点	-2.3点	-2.3点	-3.4点	—	+0.5点
家庭学習を1時間以上行っている児童生徒の割合	68.4%	67.5%	72.8%	69.3%	—	80.0%
読書が好きな児童生徒の割合	50.75%	53.7%	53.8%	74.5%	—	65.0%
幼稚園へのALT(外国語指導助手)等派遣回数	3回	14回	10回	10回	7回	6回

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○コロナ禍の中、各校の授業は大変だったかと思うが、各教科内容定着のためタブレットやインターネットによる授業が進み、効果をあげている様子が見えた。今後とも、コロナ禍の大変な中だが、ICT活用の授業推進に取り組まれることを期待している。</p> <p>○今後の取組の中で、「児童・生徒の情報モラル教育に力を入れて取り組む」とあるが、継続した取り組みに期待している。</p> <p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」の読書量はコロナ禍による休校で、家庭学習が余儀なくされた。その結果、児童生徒ともに大きく上昇した。先生方の指導の賜物だと高く評価したい。</p> <p>○休校期間中の定期的な家庭訪問の実施により、個々人に合った家庭学習の充実に向けての取り組みは、先生方の落ちこぼれを無くそうとする意気込みを感じる。例年にない事案に対し、先生方一人一人の努力が伺える。一丸となつての素晴らしいアクションであると高く評価したい。</p> <p>○学校と教育委員会が連携して、休校期間後の状況を共有しながら授業を進めたことは、高く評価したい。</p> <p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進授業」の読書活動は、小・中学校ともに前年度を大きく上回る結果で、取り組みと指導を評価する。引き続き、子どもの人間形成に大きな影響を与える読書活動の取り組みを期待する。</p> <p>○コロナ禍で子どもたちの学びを止めないよう、いばらきオンラインスタディを活用しての教育や家庭学習の充実に向けて積極的な取り組みを評価する。今後も環境に応じた取り組みに期待する。</p> <p>○ICTを効果的に活用した授業実践を組織的・計画的に進めるとともに、セキュリティ対策等の取り組みをお願いする。</p> <p>○採用3年までの若手教員の資質・能力向上を目指した研修を計画的にすることは、重要な取り組みと考える。引き続き、授業力向上を支える基盤づくりをお願いする。</p>
------------------	--

事業名	③ 豊かな心の育成			
施策の内容	○豊かな心が育まれ、より良い人間関係を築いています。			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」を市内全体で取り組むよう指導した。(身だしなみ・掃除・挨拶・時間)</p> <p>○ハイパーQ Uアンケートを実施して学級内の人間関係の把握に努めることで、より良い学級づくりといじめ防止につなげた。また、東小学校でアンケートの結果をもとに教員向けの研修会を実施し、学級・学年経営に生かせるようにした。</p> <p>小学校のいじめ認知件数は244(212)件、中学校の認知件数は45(54)件で、昨年度とほぼ同じ認知件数であった。これまでの悪口やからかいと共に、特別な支援を必要とする児童生徒への対応が新たな課題となっており、スクールカウンセラーや県立特別支援学校の巡回相談などを活用しながら対応してきた。いずれも解消となっているが、経過観察・指導継続の必要がある。</p> <p>○道徳の授業の確実な実施を目指し、計画訪問等における道徳の授業参観及び指導助言を行った。また、高萩小学校・松岡中学校で要請訪問を実施し、読み物資料のあらすじを追う展開からの脱却と「考え・議論する道徳」の実践、適切な評価の仕方について研修を行った。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」の取組状況については、清掃時の黙働をはじめ学校ごとに特色を打ち出しながら実践している。引き続き校長会や生徒指導主事研修会で確認するとともに、学校訪問により状況を確認して指導する。</p> <p>○個人向けの分析結果の出るハイパーQ Uアンケートを実施し、児童生徒一人一人にとって居心地のよい学級づくりに一層努める。また、ハイパーQ Uアンケート活用に関する研修会を学校ごとに実施することで分析の精度を高め、一人一人を大切に学級経営に努める。</p> <p>○コロナ禍のため、地域のボランティア活動や行事への参加特別支援学校との交流、高齢者との触れ合いなどの機会が大きく減少した。感染症対策を講じながら、新たな交流の仕方を検討する。</p> <p>○関係機関との連携を図りながら、幼稚園介助員や小学校生活指導員兼介助員の研修を充実させ、切れ目のない支援を充実させる。</p>			

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H29	H30	H31・R元	R2	目標値 (R2)
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	71.8%	72.5%	80.2%	75.4%	—	79.9%
人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	74.8%	67.6%	74.4%	95.5%	—	85.4%

外部評価委員の評価	<p>○コロナ禍のためか、評価が、「ほぼ順調」から「横ばい」に変わっているが、経過観察や状況把握の工夫をすることで、豊かな心の育成が図られていることが捉えられると感じた。</p> <p>○児童生徒の心の居場所づくりに努めたことは、誰でも陥りやすい子どもたちを闇の世界に足を入れさせないための意気込みが感じられる。今後も継続することを期待したい。</p> <p>○「考え・議論する道徳」の実践は、自分の意見を持つ「自調自考」の国際人としての資質形成として素晴らしい。今後も継続することを期待したいとともに高く評価したい。</p> <p>○生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」を市内全体で積極的に展開、しっかり取り組んでいる。引き続き、全校での取り組み状況を水平展開した活動成果を期待する。</p> <p>○ハイパーQ Uアンケートを継続して取り組み、状況を把握していじめ防止対策を実施していることを評価する。今後も継続してアンケートを行い、児童生徒一人一人を大切にした学級づくりをお願いします。</p> <p>○コロナ禍のため、地域のボランティア活動や行事への参加、特別支援学校との交流、高齢者との触れ合いなどが減少した。感染症対策を講じながら新たな交流の仕方に期待する。</p>
-----------	---

事業名	④ 健やかな体力の向上			
施策の内容	<p>○健やかな体を持ち、理想や自己の目標に向かって努力する強い意志を持っています。</p> <p>○安全でおいしい給食が提供されています。</p>			
担当課	教育総務課・学校教育課			
実施内容	<p>○一人一人の動きを撮影し、スローで再生して体の使い方を確認したり、グッドモデルを提示して全員で共有したりと体育の授業でもICTを積極的に活用し、技能の向上に努めた。</p> <p>○各中学校では、運動部活動の充実が図られ、生徒の自主性・主体性を高める運営に努めた。</p> <p>○「高萩市運動部活動の運営方針」及び各学校の運営方針に則った部活動運営を基本とし、適正な時間管理の下、コロナ対策をしながら合理的かつ効率的・効果的な部活動運営に努めた。</p> <p>○部活動指導員を配置し、専門的な指導を行うとともに、教員の負担軽減を図った。</p> <p>○栄養教諭により、児童生徒の発達段階に応じて朝食摂取の大切さや心身の成長に必要な栄養などの食育に関する授業を行った。また、コロナ禍で家庭での食事の機会が増える中、ホームページに給食で人気の献立のレシピを載せるなどして、保護者にも食事の大切さを伝えた。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○児童生徒の体力向上については、課題の見られる運動能力の向上に努める。また、体育的行事、部活動、スポーツチャレンジ、民間スポーツクラブとの連携による水泳学習等を通して運動への興味関心を高める。</p> <p>○部活動指導員が配置されていない学校への配置を推進するとともに、指導員の効果的な活用や望ましい部活動指導の在り方等について、教員及び指導員対象の研修を実施する。</p> <p>○目標とする学校給食残食率の減について、目標値を達成することができたが、引き続き栄養教諭を活用した「食育」を継続し、苦手な食べ物にも挑戦できる児童生徒の育成を目指す。保護者にも積極的に情報を発信していくことで家庭での食育の推進も図っていく。</p>			

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H29	H30	H31・R元	R2	目標値 (R2)
児童生徒体力テスト (A、B評価の割合)	63.7%	66.6%	66.6%	66.4%	—	65.0%
学校給食の残食率	21.0%	19.5%	19.7%	16.4%	18.2%	19.0%

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○体育の授業でも効率よくICTを活用した授業に取り組んでいることが理解できた。</p> <p>○コロナ禍の中での人気給食献立のレシピをホームページに公開する等の積極的な取り組みが印象に残った。</p> <p>○実施内容の中で、コロナ禍に対応した各種手立てが工夫され、それに対する検証もよくなされていることが読み取れた。</p> <p>○「一人一人の動画」を撮影し動作に対して、指導者の見守りの中で生徒同士の意見を交換することにより、技術向上につながり友人と信頼関係も築け、個々人が心身ともに成長すると考えられる。今後も継続実施に期待したい。</p> <p>○一人一人の動きを撮影しての体育授業は、ICTを積極的に活用しての技能向上に大変有効的な取り組みで評価する。継続した取り組みで、一人一人の技能向上に期待する。</p> <p>○部活動指導員を各中学校に配置して専門的な指導をお願いするとともに、教員及び指導員対象に研修を実践しての充実した部活動に期待する。</p> <p>○民間スポーツクラブとの連携による水泳学習は、衛生・安全面からも有効な取り組みで評価する。継続しての取り組みで充実した活動に期待する。</p> <p>○栄養教諭による、児童生徒への食に関する指導と家庭へ情報発信して学校給食残食率軽減に務めていることを評価する。継続して食育の推進をお願いする。</p>
------------------	---

事業名	⑤ 開かれた学校運営			
施策の内容	○地域の子どもたちの成長・発達を保育所、幼稚園、小学校、中学校と家庭、地域がお互いに連携して取り組んでいます。			
担当課	学校教育課			
実施内容	○令和2年度のコミュニティ・スクール全校導入に合わせて各学校で教職員への研修を行った。また、市報に高萩東コミュニティ・スクールの活動の様子を掲載し、保護者・地域への啓発に努めた。 ○コミュニティ・スクールの全校導入に向け、校種間連携事業を「ユニット3」に変更し、ねらいを明確にした交流ができるようにした。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○令和2年度にコミュニティ・スクールを全校導入したが、コロナ禍のために十分な活動ができなかった。改めて教職員や地域・家庭に積極的に情報発信を行い、事業の活性化を図っていく。 ○各学校に地域連携コーディネーターを配置し、研修を充実させることで学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力した教育を推進する。 ○地域連携コーディネーターを中心に、はぎっずサポーター等の地域人材の活用を充実させ、本物を見せる授業、地域と協働して子どもたちを育てる学校づくりを推進する。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H29	H30	H31・R元	R2	目標値 (R2)
学校・家庭・地域が連携して教育がなされていると思う市民割合	29.4%	—%	—%	—%	—%	46.3%
豊かな心を育み、萩っ子が生き生きと育つ学校教育が推進できていないと思う市民の割合	13.0%	—%	—%	—%	—%	7.7%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○活動は思うようではなかったと反省しているが、令和2年度コミュニティ・スクール全校導入ができたことは大変素晴らしいことだと受け止めた。</p> <p>○コミュニティ・スクール全校導入後、学校や地域の変化について記録にまとめ、公表する活動を今後も充実して欲しい。</p> <p>○高萩東コミュニティ・スクール活動の市報掲載は、保護者・地域との連携協力推進と後押しする取り組みと考えられる。今後も情報発信の継続を期待したい。</p> <p>○コミュニティ・スクールの全校導入に向け、校種間連携授業を「ユニット3」に変更し、ねらいを明確にした交流で地域とともにある学校づくりに期待する。</p> <p>○各学校の地域連携コーディネーターを中心に地域人材の活用を図り、地域と協働して子どもたちを育てる学校づくりを推進する取り組みに期待する。</p>
------------------	---

(2) 生涯学習

自分に合った手段や手法で学び、それを活かして生活し、充実感を得られるよう生涯学習を推進します。

事業名	① 生涯学習機会の充実			
施策の内容	○国際化や情報化社会など直面している課題への取組や一人ひとりの状況に応じたきめ細かな学習機会が提供され、人と人との連携や世代間交流が拡大しています。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○市民の生涯学習活動の一助となる生涯学習情報誌「学びいきいき高萩2020」を作成し、関係機関等へ配付した。</p> <p>○市内の全小中学校にコミュニティ・スクール制度が導入され、学校・家庭・地域社会のより一層の協働が必要とされるなか、地域の人材であるはぎっズサポーターの活用により、地域社会と学校との連携を図った。(延べ559回活動)</p> <p>○市民団体との連携により「いきいき萩っ子育て事業」を実施し、子どもから高齢者まで交流し学べる機会を設けた。「カレンダーを作ろう」「自分だけの凧を作ろう」</p> <p>○働く女性や子育て中の女性向けの講座や、高萩市商工会が運営する駅前通りの市民と市街地の交流の場「高萩やすんでっ亭」での出前講座など市民のニーズに合った講座を実施した。</p> <p>○体験活動を通して子どもたちの健全育成を図る夏季事業(「サマージャンボリー」「少年探検講座」「萩っ子歴史探検隊)」のコロナ禍での開催方法を事業実施団体と検討したが、中止することになった。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○はぎっズサポーター、こども安全ボランティア、子育てサポーターなど、ボランティア組織の効果的な活用を図る。</p> <p>○学校教育支援体制の充実を図る。</p> <p>○コロナ禍での事業実施手法の検討を行う。</p> <p>○市民ニーズの把握及び事業化(講座開設等)に取り組む。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H29	H30	H31・R元	R2	目標値 (R2)
生涯学習機会が充足していると思う市民割合	16.1%	-%	-%	-%	14.9%	25.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価委員の評価	<p>○各種行事が中止になることが多かったが、コロナ禍での事業実施手法の検討をするなど、前向きな取り組みが行われている。</p> <p>○子育て中の女性向けに託児所付きの講座開催は、子育て中で外出が思うようにできない母親が外の空気に触れ同じ環境の仲間との出会いはメンタル面で大きなサポートになると考えられる。市民のニーズに合った講座を開催したと高く評価したい。</p> <p>○はぎッズサポーターを活用した地域社会と学校との連携活動は有意義で評価する。引き続き、学校と地域の人々が相互理解と信頼関係を深め、連携強化した取り組みに期待する。</p> <p>○市民団体との連携による「いきいき萩っ子育て事業」をコロナ禍の厳しい環境のなか2回実施したことを評価する。引き続き、市民ニーズの把握と事業化(講座開設等)に期待する。</p> <p>○生涯学習機会が充足していると思う市民割合は、市民アンケート結果14.9%と低い。生涯学習情報誌「学びいきいき高萩2020」のPR等を通して関心が高まることを期待する。</p> <p>○自然・文化体験活動は、コロナ禍での開催を事業実施団体と模索したが全て「中止」になった。コロナ禍での事業実施手法を検討して実施できることを期待する。</p>
-----------	--

事業名	② 生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興			
施策の内容	○創意工夫を活かした特色ある講座やスポーツ、レクリエーションなど様々な事業が展開され、子どもから高齢者まで多くの市民が年齢や体力に応じ気軽にスポーツに親しんでいます。			
担当課	スポーツ振興課			
実施内容	<p>○市内小中学校の体育館や校庭等の体育施設を学校教育に支障のない範囲内で市民へ開放を行った。学校体育館の開放については、利用団体間で調整を行い利用できた。</p> <p>○市長杯争奪軟式野球大会等を実施し、多くの市民が参加した。珂北高等学校野球大会、歩く会、たかはぎ駅伝及び高萩市がウエイトリフティングの競技会場となる予定であった全国高等学校総合体育大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p> <p>○2019年に開催された「いきいき茨城ゆめ国体」のレガシーを引き継ぎ、ウエイトリフティング教室を実施した。年々参加者は増加しており、各種大会への上位入賞者を輩出している。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○ホームページやSNS等を活用し、各種団体と連携を図り、スポーツ活動の人口増に努める。</p> <p>○公道で実施している体力づくり市民歩く会及びたかはぎ駅伝競走大会については、参加者の安全確保に努める。</p> <p>○ウエイトリフティング競技力の向上を図るとともに、競技の紹介・普及等に積極的に取り組み、スポーツ交流事業の増加と地域のスポーツ環境の向上を目指す。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H29	H30	H31・R元	R2	目標値 (R2)
各種スポーツイベント等への参加者数	3,454人	－人	－人	－人	356人	3,500人
週1回以上スポーツを行っている市民割合	26.3%	－%	－%	－%	28.2%	30.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○今まで地道に取り組んできた内容が、コロナ禍のため実施できない事業もあったが、直前までの各種準備計画等大変ご苦労様。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により多くのイベントが中止を余儀なくされる中、ウエイトリフティング教室開催は先生方の強い意気込みを感じられた。また、参加者が年々増加している事は、成果が上がっているように見える。そして、各種大会への上位入賞者輩出できたことを含めて高く評価したい。</p> <p>○市内小中学校の体育館や校庭等開放は、多くの団体が調整を行い利用している。今後もスポーツ活動への参加を促進し、体カづくり・健康増進のため多くの団体が利用できるよう開放をお願いします。</p> <p>○コロナ禍で多くの大会や行事が中止となった。コロナ禍のなか感染対策等を実施し安全確保に努め、多くの市民が参加する大会や行事ができることを期待する。</p> <p>○国体終了後もウエイトリフティング教室を継続して開催している。参加者が増加し、各種大会への上位入賞者を輩出して活動している。今後もウエイトリフティング競技力の向上とともに競技の紹介と普及に期待する。</p>
------------------	---

事業名	③ 社会教育施設の整備と活用			
施策の内容	<p>○市民のニーズに合った適正配置が進み、管理体制が整い市民に愛される施設として有効活用されています。</p> <p>○広い市域に分散している社会教育施設の老朽化に伴い、統廃合や整備、適正な規模の確保並びに配置に努め、有効活用されています。</p>			
担当課	生涯学習課・スポーツ振興課			
実施内容	<p>○体育施設の整備として、グラウンド等の修繕及び各施設の照明器具の改修工事、非常口ドア等の修繕を実施した。</p> <p>○市民体育館においては、避難所の機能としての充実を図るため、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び学校施設改善交付金を活用して換気設備改修工事を実施し、環境改善を図った。</p> <p>○文化会館においては、経年により劣化した変電設備の更新を行った。</p> <p>○図書館・歴史民俗資料館においては、館内照明の改修を実施し、施設利用者の利便性の向上を図った。</p> <p>○国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、市民体育館や中央公民館など8施設のトイレ照明や自動水栓の整備、並びに図書館トイレの改修を行い、利用者の利便性と安全性の向上を図った。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○全施設において、老朽化が進んでおり、計画的な改修及び修繕が必要である。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H29	H30	H31・R元	R2	目標値 (R2)
社会教育施設の平均稼働率	87.0%	86.2%	82.0%	81.8%	78.6%	90.0%

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○コロナ禍の中ではあったが、社会教育施設の平均稼働率が前年より30%減で収まっていることは、工夫して取り組まれた結果であると思う。</p> <p>○社会教育施設の平均稼働率が年々減少していたが、今年度は大幅に減少している。これは新型コロナウイルス感染症対策の結果だと考えられる。施設の改修、修繕工事が進んだことにより、今後は、稼働率増加への取り組みを期待したい。</p> <p>○体育施設の設備について、計画的に改修・修繕を実施している。今後も安全安心な管理運営をお願いする。</p> <p>○高萩市民体育館は、地方創生臨時交付金及び学校施設改善交付金を活用して換気設備改修工事とトイレ照明や自動水栓の整備を行い避難所の機能としての充実を図ることができた。他施設についても利用者の利便性の向上を図り取り組みを評価する。</p> <p>○全施設において、老朽化が進んでおり、計画的な改修及び修繕の取り組みをお願いする。</p>
------------------	---

(3) 市民文化

多様な文化に触れ、心豊かに暮らせるよう、伝統文化・芸術文化・国際交流などの市民活動を推進します。

事業名	① 芸術文化の振興			
施策の内容	○市民や文化協会等の自主的な芸術文化活動への支援が充実していることから、市民のニーズの変化に合った魅力あるイベントが開催され、質の高い芸術・文化に触れる機会が充足しています。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	○新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を予定していた文化祭、子ども文化教室一日体験講座、国際交流の集い、海外派遣事業など、ほぼすべての文化的事業の開催を見送ることとなった。 文化協会加盟団体の中には、コロナ禍でも工夫して活動を行っている団体もあり、どのような工夫をしたのかなどを文化協会内で共有するよう努めた。 ○文化会館においては、実施予定であった観劇会や市民音楽祭などの自主事業も全て中止となった。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input checked="" type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○文化団体構成員の高齢化がみられるため、若年層の取り込みが必要。 ○高萩市国際交流協会と協働して、外国文化に触れる機会や市内在住外国人との交流の創出。 ○幅広い年齢層に対応できる文化会館自主事業の検討。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H29	H30	H31・R元	R2	目標値 (R2)
文化祭等事業への参加者数	6,238人	－人	－人	－人	0人	6,650人
芸術・文化活動の機会の充足度	59.5%	－%	－%	－%	17.3%	65.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価委員の評価	<p>○講座が実施できなかつたり、事業開催が見送られたため、全体の評価は下がっているようだが、コロナ禍の中での工夫した団体の様子を共有するなどして工夫している。このような時期に継続するもの・やめるもの等市民文化の洗い出しをしていく機会としたい。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、文化的事業のほとんど開催できなかつたことは残念に思う。次回は、今年度開催予定の企画をもとに、更に質の高い芸術・文化に触れる企画への取り組みを考えてほしい。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、ほぼ全ての文化的事業が中止となった。感染予防対策等を実施して文化的事業が開催できることを期待する。</p> <p>○文化団体構成員の高齢化が進み、若年層の取り組みは長年の課題となっている。従来のかげに捉われず新たな発想での取り組みを期待する。</p> <p>○芸術・文化活動の機会の充足度の市民アンケート結果は、17.3%と低い。芸術文化団体等の活動の活性化を図るとともに芸術文化鑑賞の機会を増やし、市内全体における芸術文化の振興を期待する。</p>
-----------	--

事業名	② 文化財の保護・活用			
施策の内容	○郷土の貴重な文化財を保存・伝承するとともに展示や広く周知することにより、市民の文化財に対する関心が高まり、親しむ機会も増えています。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○市内文化財の保護・活用</p> <p>・令和2年9月に、長久保赤水関係資料 693 点が国の重要文化財に指定された。</p> <p>文化財指定を記念して、令和2年8月から11月にかけて高萩市歴史民俗資料館において「長久保赤水特別展」を開催した。また、これら貴重な資料群を後世に伝えていくため、文化庁や専門家と協議しながら、特に傷みのある資料を抽出し、令和3年度からの修理計画を立てた。</p> <p>・穂積家住宅の維持管理については、茨城県指定の文化財であるため、県及び県の文化財専門家に茅葺屋根の状態を確認いただき、葺き替えに向けての検討を実施した。</p>			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○長久保赤水関係資料の修理については、令和3年度から8か年計画で33点の修理を行う予定。資料の修理には国の補助が活用できるが、市の負担分について新たな財源を確保する必要がある。</p> <p>また、赤水の顕彰と観光客誘致のため、令和2年度から赤水の業績と高萩市を紹介する映像化事業を実施している。完成後はDVD化し、学校教育に活用するとともに、市公式YouTubeチャンネル等を活用し、世界に向け発信する。</p> <p>○穂積家住宅茅葺屋根修理工事実施に向け、令和3年度に実施設計業務を行う。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H29	H30	H31・R元	R2	目標値 (R2)
市内の文化財に親しんでいる市民の割合	62.3%	—%	—%	—%	57.4%	65.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価 委員の評価	<p>○長久保赤水関係の文化財保護・活用に関して、評価が高まっている。今後も継続するよう願っている。</p> <p>○長久保赤水関係資料693点が国の重要文化財に指定された事は、高く評価したい。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響下において「長久保赤水特別展」を高萩市歴史民俗資料館にて4か月間開催されたことは、担当者の意気込みを感じる。</p> <p>○令和2年9月に、長久保赤水関係資料が重要文化財に指定され、高萩市歴史民俗資料館において「長久保赤水特別展」を開催し、長久保赤水の偉業を広く国民のみなさんに知っていただく周知活動を評価する。また、DVD化して学校教育に活用するとともに、市公式YouTubeチャンネル等を活用し、世界に向けての発信に期待する。</p> <p>○穂積家住宅の来場者は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ。感染予防対策をしっかり講じPR活動等で誘客が増すことを期待したい。また、穂積家住宅茅葺屋根修理工事を計画的に推進することをお願いする。</p>
---------------	--

事業名	③ 市民による国際交流推進			
施策の内容	○市内外の外国人や外国文化と交流を行う人が増加しています。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	○高萩市国際交流協会事業 新型コロナウイルス感染症の影響により、高萩市国際交流協会主催の「高萩国際交流の集い」、市内中学生の「海外派遣事業」などの事業が開催できなかった。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input checked="" type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○市内居住の外国人との交流事業の実施（日本語教室） ○海外派遣事業の見直しを行う。 これまで交流をしてきたカメハメハ学園（ハワイ）とのつながりが、先方担当者の退職に伴いなくなってしまったため、訪問先や実施プログラムの再考を迫られている。 このため、短期留学などのノウハウを持つ旅行会社への業務委託等の方法を視野に入れ、高萩市国際交流協会と協議していく。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H29	H30	H31・R元	R2	目標値 (R2)
過去2年以内に市内外の外国人や外国文化と交流している又は交流したことがある市民割合	10.0%	-	-	-	8.6%	10.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価委員の評価	<p>○このような時期だからこそ、他市町村の状況を把握し、高萩市として取り組めるものを見直す機会にして欲しい。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響下により、国際交流事業の海外派遣事業は困難な状況にある。今後は、市内在住の外国人との交流を通して国際人としての資質を高めるグローバル化への検討を期待したい。</p> <p>○高萩市の国際交流協会事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかったことは、やむを得ないと考える。新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえながら開催方法等の工夫に努めるとともに、高萩市国際交流協会と協議して開催することを期待する。</p> <p>○市内居住の外国人との交流事業を推進し、市民の国際化意識を高めることに期待する。</p>
-----------	--

(4) 人権

市民一人ひとりの人権が尊重されるまちを構築します。

事業名	① 学校における人権教育の推進			
施策の内容	○学校教育や生涯学習などの場において人権教育が実施され、差別や偏見がなく、人権の尊重についての理解が深化しています。			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○各学校において人権教育推進全体計画を作成し、人権尊重の視点に立った学校づくりを行った。</p> <p>○人間関係のトラブルに関する生活指導や生徒指導の場面で、相手の立場や気持ちを考えさせる指導を行っている。また、学期に1回以上の生活アンケートの実施により、いじめやトラブルの早期発見に努めた。</p> <p>○高萩中学校では、「茨城県スクールロイヤー派遣事業」を活用し、弁護士を招いていじめ行為の法律上の扱いについて講義を聴いたり、人権を守ることの重要性について話し合ったりと、生徒や教職員向けの研修を実施した。</p> <p>○いじめ問題対策連絡協議会でも、「茨城県スクールロイヤー派遣事業」を活用し、弁護士を招いてオンラインゲームやインターネットトラブルについて研修し、関係機関と連携して対応に当たる重要性について再確認した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○悪口やからかいなど、いじめに当たる行為はなくなっていない。引き続き、教育活動全体を通して人権意識を高めるとともに、道徳の授業において人権尊重の意識を高め、様々な体験活動を通して実践力を高める指導を充実させる。</p> <p>○17項目の人権課題に対して、知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に表れるような人権感覚の涵養に努める。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H29	H30	H31・R元	R2	目標値 (R2)
学校教育や生涯学習などの場において人権教育が実施され、差別や偏見がなく、人権の尊重についての理解が深化している。	76.8%	78.8%	88.0%	—%	—%	87.5%

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○新しい取り組み実践により、講義等の研修が継続している。今後も実施して欲しい。</p> <p>○「人権を守る重要性」についての教職員研修実施は、生徒を指導する上での理解力がトラブル解消を大きく左右すると考えられるので、高く評価したい。今後、その研修の成果に期待したいところです。</p> <p>○各学校において人権教育推進全体計画を作成し、人権尊重の視点にたった取り組みを教職員一体となって取り組んでいることを評価する。成果指標の「人権の尊重についての理解が深化している」について、アンケート等で検証を行い、取り組みの更なる推進をお願いします。</p> <p>○継続して学期に1回以上の生活アンケートを実施し、教職員が情報を共有していじめやトラブルの早期発見と解決に取り組んでいることを評価する。継続して相手の立場や気持ちを考える指導をお願いします。</p> <p>○高萩中学校において、外部講師を招いて人権を守る重要性について生徒や教職員向けの研修は、大変有意義な取り組みで評価する。各学校への水平展開をお願いします。</p>
------------------	---

Ⅲ 外部評価委員会委員の意見

○「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」のまとめ 毎年大変ご苦勞様。以前は同じことが繰り返して記述されることが続いたが、今は担当者が具体的な取り組みとそのことに関する課題と今後改善のためにどのようにしていくかという関連を図った記述が多くなり嬉しく思っている。

○「主要事業指標（総合計画の成果指標）」は「実施内容と評価」との関連を図ったものであるとよい。

○「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」において、各事業の取り組みを高く評価する。「新型コロナウイルス感染症」の影響で事業も順調に推進できない状況の下、担当者のご苦勞に敬意を表したい。更なる高萩市の発展・向上に期待する。

○教育に関する事務の管理及び執行の状況に関する報告書は、教育委員会が管理・執行する事業を各担当課が中心に計画を立て確実に推進・実践していることを評価する。

○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、計画通りに進められない事業があり、評価するのは難しい。コロナ禍を言い訳にせず「できることをやろう」という各担当課の取り組む姿勢を評価する。

○教師のICT機器操作の補助や、ICTを活用した授業を支援するICT支援者を配置して、学校のICT化が加速することを期待する。

IV 参考資料

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。